

令和7年度 第2回学校運営協議会議事録

校名	府立鳳高等学校
校長名	片山 造

開催日時	令和7年11月27日(木) 13:00 ～ 15:00
開催場所	大阪府立鳳高等学校 中館1階 校長室
出席者(委員)	山東会長, 上田委員, 中村委員, 納家委員, 岡田委員
出席者(学校)	片山校長, 長子教頭, 増田事務長, 高坂首席, 井上首席
傍聴者	なし
協議資料	令和7年度学校経営計画及び学校評価、学校特色枠について他
備考	

議題等(次第順)
(1)令和7年度学校経営計画の進捗状況について (2)令和10年度以降の府立高等学校入試選抜における学校特色枠について (3)校内視察 (4)意見交換

協議内容・承認事項等(意見の概要)
(1)令和7年度学校経営計画の進捗状況について⇒承認 プレゼンテーション力の育成や外部講師の活用など、前回協議会での方針に沿って改善を進行中。 1年エキスパートクラスの運用、DXルームでの3Dプリンタ活用など、新たな取り組みを推進。 英語のラウンド制やICT活用については、さらなる改善が必要という意見が出された。 学校行事は伝統を大切にしつつ、生徒主体の活動を今後も重視していく方針。 (2)令和10年度以降の府立高等学校入試選抜における学校特色枠について⇒承認 特色選抜枠が最大50%に拡大される見込み。 学科適性(国数英)や文化・体育活動、面接を要素とする選抜方法が検討されている。 特色選抜と一般選抜が一本化され、第2志望までの出願が可能に。 配点や結果の開示方法については、今後詳細が決定される予定。 (3)校内視察 (4)意見交換 定員割れの影響などにより、生徒の学習意欲にばらつきが見られるとの指摘。 地元志向が強まり、通学しやすい大学が選ばれる傾向がある。 家計負担や奨学金への不安を抱える家庭も多く、進路選択に影響が出ている。 探究活動が「調べ学習」に留まっていること、教員の指導力向上が必要であるとの意見が出された。 プレゼンテーション指導では、基礎的な伝え方や資料の作り方を丁寧に教える必要性が確認された。 生成AIの活用についても議論があり、学校での適切な利用方法を検討していく。 教員間の連携や役割分担の改善が必要であるとの指摘。 単位制による加配を十分に活用しきれていない点が課題として挙げられた。 学校として「生徒が学びたいと思える魅力づくり」が重要であるとの意見が多く出された。 ネイティブ教員担任による連絡の不備について指摘があり、学年主任と連携して情報共有の仕組みづくりを進めている。

次回の会議日程	
日時	令和8年 2月 12日(木)15:00～
会場	大阪府立鳳高等学校 中館1階 校長室